



# 100年後の森の未来を考える シロの木材利用促進について

株式会社シロ

## 株式会社シロについて

SHIROは「自分たちが毎日使いたいものをつくる」というシンプルな想いからスタートしたコスメティックブランドです。ブランド誕生から今年で17年目を迎えます。私たちは2年前、すべての資源の価値を見つめ直す「SHIRO 15年目の宣言」を掲げ、地球や未来の子どもたちのために廃棄物ゼロを目指すことに取り組んでいます。

## 木材利用に取り組む きっかけ

2023年4月、創業の地である北海道砂川市にオープンした『みんなの工場』の建設時に、林業家の皆さんに出会い、彼らの考えに魅了されたからです。自然に配慮した間伐方法や、その有効活用など100年後の森の未来を考えた活動に心から共感し、何度も一緒に森へ入りました。その出



取り組むきっかけとなった「みんなの工場」（2023年4月オープン）

会いがあったからこそ、本質的な森の循環に向き合い、木材利用の取組に努めています。例えば、『みんなの工場』ではショツプの什器に江丹別のシラカバを、外壁には北竜町のカラマツを林業家の皆さんから直接購入して使用しています。

## 協定に基づいた取組

SHIROでは2024年3月に農林水産省と「株式会社シロにおける木材利用拡大に関する建築物木材利用促進協定」を締結し、SHIROが建設する建築物において地域材を利用する設計を基本とし、木造以外の新築や改修においても可能な範囲で木質化に努めること等の構想を掲げ、限りある森林資源を余すことなく活かす取組を行っています。

2014年4月北海道長沼町にオープンした一棟貸しの宿泊施設『MAISON SHIRO』や、2025年11月に『みんなの工場』の敷地内にオープンしたイノベータープレストラン『MORISHIRO O』では、林業家の皆さんから直接購入した木材を使用し、内外装だけでなく見えないう構造材や下地材、造作家具、ドアなどにも活用しています。『MORISHIRO』では、建物だけではなく、コースに使われているお料理のさまざまな食材に森で獲れ



北海道産の木材を利用した木造の宿泊施設「MAISON SHIRO」（2024年4月オープン）



建築端材や廃材により内装の木質化した「SHIRO 札幌ステラプレイス店」



愛別町森林(もり)づくりと活用に関する協定締結式

た肉や収穫された植物や実を取り入れていきます。

森林づくりの取組を地域と協働するため、2024年11月には栗山町と「ほっかいどう企業の森林づくり」の協定を、2025年8月には北海道愛別町と「愛別町森林(もり)づくりと活用に関する協定」を締結し、企業版ふるさと納税を活用した森林整備や啓発活動を行っています。これらに加え、単に森の木材を使用するだけでなく、SHIROの製品にシラカバの樹液や枝葉を使用し、森の恵みをスキンケア製品として昇華させ、2022年から旬シリーズの「白樺」として毎年販売しています。また、森を育てるため植栽した苗木が健康やかに育つよう、下層部に生える雑草や雑木を除去する下刈りの作業の際に自生するヨモギを採取し、化粧品にしました。協定を結んでいる愛別町から個人版ふるさと納税の返礼品としてそれらの製品を出品し、寄付者がヨモギの製品を受け取ることで、さらに地域へお金が循環するスキームを構築しました。

お店づくりにおいても、地域の木材を積極的に使用しています。2025年4月に移転リニューアルオープンした『SHIRO 阪急うめだ店』は、兵庫県の間伐材をありのままの形で壁や什器に活用しました。また、同年9月にリニューアルオープンした『SHIRO 札幌ステラプレイス店』においても北海道で建設中の建物の端材を活用し、廃材に新たな価値を与えています。

## 今後の展望

現在リニューアル中の「砂川パークホテル」が「PARK SHIRO」と名前を変え、2027年1月にリニューアルオープン予定。併設のサービス付き高齢者向け住宅においても、同様の取組を進めています。森と真剣に向き合う林業家の皆さんとの

関係性を深め、林業が自立して継続できるように木材を直接購入し続けながら、限りある森林資源を余すことなく利活用していきます。

このように壮大な自然の中で育った森の恵みを丸ごと活かす取組を今後も進めてまいります。



2027年1月にオープン予定の「PARK SHIRO」外観イメージ(左)と1F内装イメージ(右)



2027年1月、砂川市に開業予定のサービス付き高齢者向け住宅「みんなのおうち」外観イメージ(左)と内観イメージ(右)

